

宣言

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会は、平成二十一年四月の発足から十二年が経過した。昨年は涙をのんで中止となったが、今年はコロナ禍にも負けず、リモート発表という方式も含めて開催の道を選んだ。第十三回研究発表会である。テーマは「龍馬の思想と行動」。社会のさまざまな場面で閉塞感が漂う中、龍馬とその時代に学び、人と人とのつながりの大切さを考えようとしたものだ。

講演は日本芸術文化振興会監事の大石学さん。演題は「坂本龍馬の現代的意義」。他に県内外の四人の研究者が日頃の研鑽に基づいた発表を行い、私たちは多くのことを学んだ。

坂本龍馬記念館の充実とともに、県下至る所で龍馬の掲示が見られるようになってきた。ただ、子どもたちにとれくらい龍馬のことが正しく届いているのだろうか。龍馬が逝つて一五四年。廃藩置県から一五〇年。私たちは龍馬らの生きた激動と変革の時代に学びつつ、子どもたちにも龍馬の生き方を語りながら、悔いのない道を実実に歩んでいきたいと思う。

二〇二二年五月二十二日

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会

